



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月6日

上場会社名 GMOアドパートナーズ株式会社
 コード番号 4784 URL <https://www.gmo-ap.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋口 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 菅谷 俊彦
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5728-7900

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	9,686	6.0	243	27.0	259	26.6	166	36.3
2020年12月期第1四半期	9,141	2.9	191	67.0	352	175.0	260	175.1

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 349百万円 (114.7%) 2020年12月期第1四半期 162百万円 (3.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	10.35	10.33
2020年12月期第1四半期	16.26	16.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	12,913	5,596	42.9
2020年12月期	11,897	5,381	44.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 5,535百万円 2020年12月期 5,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	0.00	0.00	0.00	8.20	8.20
2021年12月期	0.00				
2021年12月期(予想)		0.00	0.00	8.80	8.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	35,500	2.8	410	12.2	400	30.2	280	7.3	17.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	16,757,200 株	2020年12月期	16,757,200 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	688,267 株	2020年12月期	707,467 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	16,060,735 株	2020年12月期1Q	16,047,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、親会社であるGMOインターネットグループのインターネット広告・メディアセグメントを構成する連結企業集団として「すべての人にインターネット」という企業理念のもと、インターネット広告事業におけるナンバーワンを目指し、事業を展開しております。

当社グループの事業領域であるインターネット広告市場につきましては、2020年度の広告費が2兆2千億円を超え、総広告費に占める割合は36%超の規模にまで成長しております。総広告費が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け減少する中において、継続して拡大・成長を続ける市場となりました（株式会社電通調べ）。また、消費者の可処分時間におけるインターネットの利用の割合は近年一貫して増加する傾向にあり、特に購買意欲の高い20代から40代においては、インターネットが接触メディア中で最も利用時間の長いメディアになっています（総務省「令和元年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」より、当社にて推計）。

このような流れを受け、市場ではマス広告のように、認知促進を目的として動画広告等を活用するなど、企業における広告活動のより多様な領域においてインターネット広告の活用が進んでおります。当社グループでは、今後も同様の傾向が続くものと見込んでおり、本市場におけるさらなる取扱高の拡大と、市場トレンドに即した柔軟な戦略による収益の最大化を企図し、事業活動を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、2度目の緊急事態宣言の発出による外出等の自粛要請を受けた消費需要の落ち込みといった外部環境が継続する一方、東京オリンピックや将来の経済活動の再始動をにらんだ一部業種での広告需要の回復が進むなど、当社グループの事業へ直接的・間接的に影響を及ぼす経済状態が継続いたしました。

なお、前年同期に投資事業組合運用益の計上があったことから、経常利益・当期純利益については前年同期比で減少しております。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は9,686百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は243百万円（前年同期比27.0%増）、経常利益は259百万円（前年同期比26.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は166百万円（前年同期比36.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① エージェンシー事業

「エージェンシー事業」は、当社グループにおける広告主様との主要な接点として、広告商品の販売や提供する広告の管理運用といった、広告主様への営業活動を主に担っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度から好調に推移をしていた一部の業種・業態の顧客取引が続き、売上高の拡大に寄与しております。一方で、前年同期は大型受注が発生していたことから、前年同期比での利益はやや減少しております。

中・小型企業向けには、前年の商材入替・営業手法の刷新といった取組みが寄与し、セグメント全体での売上高は前年同期比で増加いたしました。

今後もインターネット広告市場における成長領域・新商流を適時適切につかみ、グループ経営の相乗効果を発揮することによって、大きな成長を実現すべく事業活動を展開してまいります。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は7,359百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は265百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

② メディア・アドテク事業

「メディア・アドテク事業」は主に、当社グループにおけるアドテクノロジー商材・自社メディアの開発およびメディア様とのリレーション構築の要となっております。

当事業においては自社開発のスマートフォン向けアドネットワーク「AkaNe」、コンテンツを活用した集客やブランディングのニーズに高度で適切な配信を実現する、コンテンツ集客に特化した広告配信プラットフォーム（DSP）「ReeMo」を主要商材として、総合的なマーケティングプラットフォームを提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度より続く、巣ごもり影響による配信先ウェブサイトのページビューやアドテクノロジー商材の広告収益の増加は継続をしております。それに伴い売上自体は好調に推移を

しておりますが、収益性の高いアドテクノロジー商材の取引高の増加や一部商材の取引高減少など、前年より商材ミックスの変動があったことから、前年対比では同程度の規模となりました。同様の理由により、セグメント利益については大きく増加しております。引き続き市場のニーズをとらえた商品開発・提供を行い、当事業の成長に注力してまいります。

これらの結果、メディア・アドテク事業の売上高は2,875百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は171百万円（前年同期比78.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて1,016百万円増加し12,913百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加965百万円、投資有価証券の増加191百万円、現金及び預金の減少225百万円によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて802百万円増加し7,317百万円となりました。これは、主に買掛金の増加907百万円、未払消費税等の増加99百万円、未払法人税等の減少95百万円によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて214百万円増加し5,596百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加178百万円、利益剰余金の増加34百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により166百万円の増加、配当金の支払いにより131百万円の減少等）、非支配株主持分の減少5百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月8日に公表しました2021年12月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,011,022	4,785,146
受取手形及び売掛金	3,671,663	4,637,617
たな卸資産	3,051	3,959
その他	123,640	262,904
貸倒引当金	△37,743	△35,960
流動資産合計	8,771,633	9,653,667
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	282,968	269,876
工具、器具及び備品（純額）	79,842	78,112
有形固定資産合計	362,810	347,989
無形固定資産		
ソフトウェア	203,617	197,803
その他	69,022	95,072
無形固定資産合計	272,640	292,876
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035,550	1,226,615
関係会社長期預け金	860,000	860,000
繰延税金資産	207,271	134,230
その他	419,046	429,437
貸倒引当金	△31,435	△30,929
投資その他の資産合計	2,490,433	2,619,353
固定資産合計	3,125,884	3,260,218
資産合計	11,897,518	12,913,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,991,323	4,898,412
未払金	369,515	338,998
未払法人税等	121,586	25,985
未払消費税等	101,292	200,443
賞与引当金	102,529	53,203
役員賞与引当金	28,290	—
その他	1,108,719	1,147,971
流動負債合計	5,823,256	6,665,013
固定負債		
繰延税金負債	47,949	112,476
資産除去債務	154,967	155,087
その他	489,662	385,276
固定負債合計	692,580	652,840
負債合計	6,515,837	7,317,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,301,568	1,301,568
資本剰余金	2,133,568	2,134,563
利益剰余金	1,701,274	1,735,966
自己株式	△253,016	△246,150
株主資本合計	4,883,395	4,925,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430,628	609,456
その他の包括利益累計額合計	430,628	609,456
新株予約権	38,539	37,422
非支配株主持分	29,119	23,204
純資産合計	5,381,681	5,596,032
負債純資産合計	11,897,518	12,913,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,141,380	9,686,574
売上原価	7,571,215	8,033,112
売上総利益	1,570,165	1,653,462
販売費及び一般管理費	1,378,750	1,410,456
営業利益	191,414	243,005
営業外収益		
受取利息	933	729
受取配当金	7,020	8,748
為替差益	22,049	604
補助金収入	5,547	5,130
投資事業組合運用益	124,605	—
持分法による投資利益	—	472
その他	3,227	2,054
営業外収益合計	163,383	17,739
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	1,578
持分法による投資損失	2,045	—
その他	8	124
営業外費用合計	2,053	1,703
経常利益	352,744	259,042
税金等調整前四半期純利益	352,744	259,042
法人税、住民税及び事業税	67,656	28,525
法人税等調整額	22,343	60,108
法人税等合計	90,000	88,633
四半期純利益	262,744	170,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,803	4,108
親会社株主に帰属する四半期純利益	260,941	166,299

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	262,744	170,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100,098	178,828
その他の包括利益合計	△100,098	178,828
四半期包括利益	162,645	349,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,842	345,128
非支配株主に係る四半期包括利益	1,803	4,108

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、依然として経済活動が本格的な回復に至っていない状況を鑑み、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した仮定について、重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期および経営環境への影響が変化した場合、当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エージェンシー 事業	メディア・ アドテク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,566,191	2,575,188	9,141,380	—	9,141,380
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,051	379,795	381,847	△381,847	—
計	6,568,242	2,954,984	9,523,227	△381,847	9,141,380
セグメント利益	291,137	96,209	387,346	△195,932	191,414

(注1) セグメント利益の調整額△195,932千円は、報告セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エージェンシー 事業	メディア・ アドテク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,213,070	2,473,503	9,686,574	—	9,686,574
セグメント間の内部売上高 又は振替高	146,478	401,991	548,470	△548,470	—
計	7,359,549	2,875,495	10,235,044	△548,470	9,686,574
セグメント利益	265,450	171,287	436,738	△193,732	243,005

(注1) セグメント利益の調整額△193,732千円は、報告セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。